



開物成務

郡山市立開成小学校

学校便り No.40

平成30年1月29日

文責：校長 伊藤孝行

平成30年度教育課程について

「変わる時」は「変える時」なのです④

3回目は、少し先の話になりますが、2021年から実施される大学入試改革について述べてみたいと思います。

まず、なぜ大学をはじめ改革を進めなければならないかということ、以下に述べる社会の急激な変化に対応できる子どもを育てていくことが急務であるからです。

- ① AIの進化等により、今の小学生が将来就くとされる職業の65%は、現在はない職業と予想される。
- ② 急速に進んでいる少子高齢化により、人口減少という日本が誕生して以来初の状況に直面している。
- ③ グローバル化・国際化が一段と進み、日本語以外の言語を話す人たちと仕事をしたり生活したりすることが多くなる。
- ④ 今の小学生がおとなになる10年後は、予測しにくい世の中になっている。

これらのことから、今までの知識再生や穴埋め問題に強い子どもの学力では、太刀打ちできない時代に子どもたちが生きていくことを覚悟しなければならないということです。

まず前提として、2020年度から小学校では新学習指導要領による学習が進められます。2018,2019年度は、現行の学習指導要領から新学習指導要領への移行が適切に行われるための移行期間で、基本的には、授業時間数や学習内容は2020年度に準ずるものとなります。その中でも小学校の英語教育が大きく変わります。

現在	話す・聞くの2領域
今後	話す・聞く・ <u>読む</u> ・ <u>書く</u> の4領域 ※習得単語数 600~700

これらの改革を受け、大学入試の英語も4領域で行われるようになるため、現在のセンター試験の形式と変わってきます。

高校3年生以降の4月~12月の間の2回までに、英検やTOEIC, TOEFLといった民間の機関が実施する試験、検定を受け基準以上の成績をとることが必要とされます。このように、センター試験の形式が大きく変化します。

なかなかたくましい開成小の子どもたち

私は、郡山市内の小学校7校に勤務し、その中でも、雪が多いことで有名な湖南町と熱海町に勤務したことがあります。二つの学校とも、冬になると上下スキーウェアで防寒体制を整えなければ、徒歩通学は困難な学校でした。しかし、先週のように一日中マイナス気温の真冬日の中でも、開成小の子どもたちは、徒歩通学を頑張っています。

車で送迎される子どももほとんど見られません。毎日の積み重ねが、心と体をたくましくしていくのだと感心しました。

1月31日(水) 皆既月食が見られます!

1月2日は今年最大のスーパームーンでした。同じ月に2回満月を見ることができるとをブルームーンと言います。

1月31日は、ブルームーンでしかも3年ぶりの皆既月食も見ることができます。

○20:48頃東南東の空で欠け始めます。

○21:51頃南東の空で皆既食となります。皆

○23:08頃に終わります。



お天気が良ければ、上の図のように見えるそうです。朝夕の冷え込みが特に厳しいこの頃ですが、防寒対策を整えたくて皆既月食を観察されてはいかがでしょうか。